

評価結果

特徴

1	発達援助 (通し番号 1 ~ 13)	宗教精神に基づく保育の基本方針が明文化され、職員会議でその理念の周知徹底が図られている。パンフレット、園だより等の配付物を通して保護者や関係者にも機会あるごとに伝えている。子どもの健康管理マニュアルや感染症マニュアルが整備されており、アレルギー疾患には医師の診断書に基づく除去食が提供されている。食事は季節感のある食材を積極的に取り入れるとともに、子どもの健康や嗜好に合わせて常にメニューの改善を試み、おいしい食事の提供を心がけている。
	保育内容 (通し番号 14 ~ 24)	保育士が子どもの気持ちを受け止め、関わることで心の居場所となっている。子どもの表現活動を大切にすると共に、体験活動を取り入れている。同年齢での活動の他、異年齢の子どもと過ごす機会もあり、思いやり、感謝の気持ちが自然な形でもてるような配慮がある。カメ・メダカやザリガニの飼育や、自然素材の活用、近隣の公園への散歩などを通して、身近な自然とかがわる機会が確保されている。
2	子育て支援 (通し番号 25 ~ 32)	個別懇談会の他、運動会、敬老の日、もちつき大会等、保護者が保育にかかわるための機会を積極的に設けている。保護者との会話は必要に応じて児童記録ノート等に記録されている。保護者の希望により運動会の日程を変更したり、防犯カメラを設置する等、保護者のニーズを把握するようきめ細やかな配慮が見られる。児童相談所や保健所等、関連する専門機関との連携が密に取れている。
3	地域等連携 (通し番号 33 ~ 41)	各医療機関や関係機関とも連携を図り、常に相談できる体制を整えている。小学校とも、学校だよりを交換したり、子どもの情報を交換するなどの連携を図っている。近隣の人々に保育についての理解を得るために日々努力を重ねている。保育体験学習、ボランティアの受け入れを積極的に行っている。
4	運営管理 (通し番号 42 ~ 52)	中期計画、各種マニュアル、苦情解決等についての情報を各会議や研修のなかで各職員に周知させるように努めている。一人一人の保育士が提出する自己申告書には、一年の成果と担当職務についての課題等が記載されている。園長との面接後、職員の意見や課題が次年度の保育方針に取り入れられる仕組みをとっている。

・ 課題

子どもの発達援助では、個別の配慮事項を記入するとともに、各年齢の月の計画についても評価・見直しを記録することが望まれる。園長、主任保育士に指導、評価を受けた上で職員間で共通理解していく体制を確立していく必要がある。保育士には研修に参加する意欲が感じられるが、経験年数の多少に関わらず専門性を活かし地域に積極的に働きかける子育て支援と、入所児童の育児相談を効果的に行うために援助技術についての研修を積極的に受講することが望まれる。

・ 利用者アンケートからの概評

園長が園児とよく関わり優しく接している点について保護者の評価が高い。職員も明るく、安心して任せられると保護者は考えている。子どもがのびのび遊び、行事や園外保育も多く自然に触れることも多い点、異年齢の子どもとの保育では思いやりの心が育っている点、絵画・体育の指導を専門の講師に受けられる点が好評であった。

・ 評価項目別 評価 (後出)

・ 総合所見

宗教的な精神を保育に取り入れ、それに基づく理念・方針をいろいろな機会を捉えて保護者に説明している。また、保護者・地域と連携を図る努力を惜しまず、信頼される保育園づくりをめざしている。職員も、その理念を十分理解し、保育や家庭支援に尽力し、人格の育成、生きる力の醸成、人権尊重の保育に心がけている。

・ キーワード

宗教精神の保育

異年齢編成保育

絵画・体育指導

・ 事業者コメント

過分な高い評価をいただき、責任の重さを感じています。職員はこの評価に見合うように、保育の質をたかめなければというプレッシャーを感じているようです。

この4月から、地域から信頼される保育園づくりのため、総合計画の第2期中期3ヵ年計画(2005~2007)がスタートしました。

「キーワード」か「園の特徴」か「運営管理」の項目に、「理念・方針を具体化する目標管理による総合計画(中・長期計画もその一つ)や自己申告制度等の実施」を園の特徴として取り上げていただきたかった。

評価結果と関係なく、「こうしたらもっと保育の質が高まる」というようなアドバイスを評価者からいただければうれしいのですが……。受審するプロセスで職員集団が大きく成長したように思います。ありがとうございました。

・ 評価項目別 評価

評価の対象として該当しない項目については をつけています

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
子どもの発達援助			
-1 発達援助の基本			
(1)	保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	a 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。 b 保育計画は、保育の基本方針に基づき作成されているが、地域の実態や保護者の意向等は考慮されていない。 c 保育計画が、保育の基本方針に基づいていない。	a
(2)	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a 定期的に指導計画の評価を行い、その結果が次の指導計画に生かされている。 b 定期的に指導計画の評価を行っているが、その結果が指導計画に生かされていない。 c 定期的に指導計画の評価を行っていない。	b
(3)	一人一人の子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている。	a 一人一人の子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている。 b 子どもの発達状況に配慮しているが、一人一人に配慮した指導計画となっていない。 c 子どもの発達状況に配慮した指導計画となっていない。	b
(4)	一人一人の子どもの発達状況、保育目標、生活状況についての記録があり、それぞれの子どもの関係する全職員に周知されている。	a 一人一人の子どもの記録があり、それぞれの子どもの関係する全職員に周知されている。 b 一人一人の子どもの記録はあるが、それぞれの子どもの関係する全職員に周知されていない。 c 一人一人の子どもの記録がない。	a
(5)	一人一人の発達状況、保育目標、保育の実際について話し合うためのケース会議を定期的かつ必要に応じて開催している。	a ケース会議を定期的かつ必要に応じて開催している。 b ケース会議を必要に応じて開催しているが、定期的には開催していない。 c ケース会議を開催していない。	a

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
-2 健康管理・食事			
(6)	登園時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人一人の発育・発達状況、健康状態に応じて実施している。	<p>a 健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人一人の発育・発達状況、健康状態に応じて実施している。</p> <p>b 健康管理は、マニュアルなどはないが子ども一人一人の健康状態に応じて実施している。</p> <p>c 健康管理は、子ども一人一人の健康状態に応じて実施していない。</p>	a
(7)	健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	<p>a 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、保育に反映させている。</p> <p>b 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達しているが、保育に反映させていない。</p> <p>c 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達していない。</p>	a
(8)	感染症への対応については、マニュアルなどがあり、発生の状況を必要に応じて保護者に連絡している。	<p>a 感染症への対応については、マニュアルなどがあり、発生の状況を必要に応じて保護者に連絡している。</p> <p>b 感染症への対応については、発生の状況を必要に応じて保護者に対して連絡しているが、マニュアルなどはない。</p> <p>c 感染症への対応については、発生の状況を保護者に連絡していない。</p>	a
(9)	専門医から指示があった場合、アレルギー疾患をもつ子どもの状況に応じて適切な対応を行っている。	<p>a 専門医から指示があった場合、アレルギー疾患をもつ子どもの状況に応じて適切な対応を行っている。</p> <p>c 専門医から指示があった場合、アレルギー疾患をもつ子どもに対する特別な取り組みを行っていない。</p>	a
(10)	日々の献立を保護者に示すとともに、必要に応じて、子どもの喫食状況を保護者に知らせている。	<p>a 日々の献立を保護者に示すとともに、必要に応じ、子どもの喫食状況を知らせている。</p> <p>b 日々の献立を保護者に示しているが、喫食状況は知らせていない。</p> <p>c 日々の献立や子どもの喫食状況を保護者に示していない。</p>	a
(11)	食事を楽しむことができる工夫をしている。	<p>a 食事を楽しむことができる工夫をしている。</p> <p>b どちらかといえば工夫をしている。</p> <p>c 工夫をしていない。</p>	a

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
-3 保育環境			
(12)	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a よく整備されている。 b どちらかといえば整備されている。 c 整備されていない。	a
(13)	生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	a よい取り組みが行われている。 b どちらかといえば取り組みが行われている。 c 取り組みが行われていない。	b
-4 保育内容			
(14)	子ども一人一人への理解を深め、受容しようと努めている。	a 子どもをよく受容しようと努めている。 b どちらかといえば子どもを受容しようと努めている。 c 子どもを受容しようと努めていない。	a
(15)	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人一人の子どもの状況に応じて対応している。	a 一人一人の子どもの状況に応じてよく対応している。 b どちらかといえば対応している。 c 対応していない。	a
(16)	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	a 環境がよく整備されている。 b どちらかといえば整備されている。 c 整備されていない。	b
(17)	身近な自然や社会とかがかわれるような取り組みがなされている。	a よく取り組みがなされている。 b どちらかといえば取り組みがなされている。 c 取り組みがなされていない。	a
(18)	さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	a よく配慮されている。 b どちらかといえば配慮されている。 c 配慮されていない。	a
(19)	遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。	a よく配慮されている。 b どちらかといえば配慮されている。 c 配慮されていない。	a

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
(20)	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a よく配慮されている。 b どちらかといえば配慮されている。 c 配慮されていない。	a
(21)	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a よく配慮されている。 b どちらかといえば配慮されている。 c 配慮されていない。	a
(22)	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a よく配慮されている。 b どちらかといえば配慮されている。 c 配慮されていない。	
(23)	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a よく配慮されている。 b どちらかといえば配慮されている。 c 配慮されていない。	a
(24)	障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a よく配慮されている。 b どちらかといえば配慮されている。 c 配慮されていない。	a

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
子育て支援			
-1 入所児童の保護者の育児支援			
(25)	一人一人の保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	<p>a 送迎の際の対話や連絡帳への記載などの日常的な情報交換に加えて、別の機会を設けて相談に応じたり個別面談などを行っている。</p> <p>b 送迎の際の対話や連絡帳への記載などの日常的な情報交換を行っているが、個別面談などは行っていない。</p> <p>c 一人一人の保護者と、子どもについて情報交換を行っていない。</p>	a
(26)	家庭の状況や保護者との情報交換の内容及必要に応じて記録されている。	<p>a 家庭の状況や保護者との情報交換の内容及必要に応じて記録されている。</p> <p>c 家庭の状況や保護者との情報交換の内容及必要に応じた記録がなされていない。</p>	a
(27)	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	<p>a 懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者の保育参加など、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。</p> <p>b 懇談会などの話し合いの場を設けているが、保護者と共通理解を得るための機会を設けていない。</p> <p>c 懇談会などの話し合いの場を設けていない。</p>	a
(28)	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに園長まで届く体制になっている。	<p>a 虐待などの早期発見に努め、得られた情報が速やかに園長まで届く体制になっている。</p> <p>b 虐待などの早期発見に努めているが、得られた情報が速やかに園長まで届く体制になっていない。</p> <p>c 虐待などの早期発見に努めていない。</p>	a
(29)	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	<p>a 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所など関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。</p> <p>c 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所など関係機関に照会、通告を行う体制が整っていない。</p>	a

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
-2 多様な子育てニーズへの対応			
(30)	多様な子育てニーズを把握するための取り組みを行い、それを事業に反映している。	a 多様な子育てニーズを把握するための取り組みを行い、それを事業に反映させている。	a
		b 多様な子育てニーズを把握するための取り組みを行っているが、それを事業に反映させていない。	
		c 多様な子育てニーズを把握するための取り組みを行っていない。	
-3 地域の子育て支援			
(31)	育児相談などの地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みを行っている。	a 積極的に取り組みを行っている。	a
		b 取り組みを行っている。	
		c 取り組みを行っていない。	
(32)	一時保育は、一人一人の子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a 一時保育の内容や方法によく配慮している。	
		b 一時保育の内容や方法にどちらかといえば配慮している。	
		c 一時保育の内容や方法に配慮していない。	

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
地域の住民や関係機関との連携			
-1 地域の住民や関係機関・団体との連携			
(33)	保育所の役割を果たすために必要な地域の関係機関などの情報を収集し、それを職員が共有している。	a 地域の関係機関についての情報を収集し、それを職員が共有している。 b 地域の関係機関についての情報を収集しているが、それを職員が共有していない。 c 地域の関係機関についての情報を収集していない。	a
(34)	子どもの健康状況について、医療機関などに相談や連携ができる体制になっている。	a 子どもの健康状況について、医療機関などに相談や連携ができる体制になっている。 c 子どもの健康状況について、医療機関などに相談や連携ができる体制になっていない。	a
(35)	育児相談などに際して、児童相談所などの専門機関に相談や連携ができる体制になっている。	a 育児相談などに際して、児童相談所などの専門機関に相談や連携ができる体制になっている。 c 育児相談などに際して、児童相談所などの専門機関に相談や連携ができる体制になっていない。	a
(36)	小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会を設けており、職員間の話し合い、研修などの連携の機会がある。	a 小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会を設けており、職員間の話し合い、研修などの連携の機会がある。 b 小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会を設けているが、職員間の話し合い、研修などの連携の機会がない。 c 小学校との間で、小学生と園児とが行事等で交流する機会がない。	a
(37)	民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携した取り組みを行っている。	a 民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携した取り組みを行っている。 c 民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携した取り組みを行っていない。	a
(38)	近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼するなどの配慮をしている。	a 近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼するなどの配慮をしている。 c 近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼するなどの配慮をしていない。	a
(39)	中高生などの保育体験を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、受け入れの担当者も決められている。	a 中高生などの保育体験を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、受け入れの担当者も決められている。 b 中高生などの保育体験を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されているが、受け入れの担当者が決められていない。 c 中高生などの保育体験を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されていない。	a

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
-2 実習・ボランティア			
(40)	実習生を受け入れるに当たっては、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、実習担当者も決められている。	a 実習生を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、実習担当者も決められている。	a
		b 実習生を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されているが、実習担当者が決められていない。	
		c 実習生を受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されていない。	
(41)	ボランティアを受け入れるに当たっては、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、実習担当者も決められている。	a ボランティアを受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、受け入れの担当者も決められている。	a
		b ボランティアを受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されているが、受け入れの担当者が決められていない。	
		c ボランティアを受け入れるに当たり、受け入れの意義や方針が全職員に理解されていない。	

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
運営管理			
-1 基本方針			
(42)	保育所の保育理念及び基本方針が明文化されている。	<p>a 保育理念及びその理念に基づいた保育サービスの提供の基本方針がいずれも明文化されている。</p> <p>b 保育理念及びその理念に基づいた保育サービスの提供の基本方針のいずれかが明文化されている。</p> <p>c 保育理念と保育サービス提供の基本方針のいずれも明文化されていない。</p>	a
(43)	保育理念や基本方針を職員、保護者、関係者に周知するための取り組みを行っている。	<p>a 保育理念及び基本方針について、職員や保護者だけでなく、地域の住民や関係機関なども対象に含め、周知を図るための取り組みを行っている。</p> <p>b 保育理念及び基本方針について、職員や保護者に周知するための取り組みを行っているが、地域の住民、関係機関などにはその周知を図るための取り組みを行っていない。</p> <p>c 保育理念及び基本方針を、職員、保護者、関係者いずれにも周知するための取り組みを行っていない。</p>	a

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
-2 組織運営			
(44)	保育の質の向上や改善のための取り組みを、職員参加により行っている。	<p>a 定例会議を含め、年間を通じて職員から提案を募集するか、又は定期的に(年に複数回)意見を聞くための場を設け、保育の質の向上や改善のための取り組みを行っている。</p> <p>b 定例会議を含め、年間を通じて職員から提案を募集するか、又は定期的に(年に複数回)意見を聞くための場を設けているが、それを踏まえて保育の質の向上や改善のための取り組みを行っていない。</p> <p>c 定例会議を含め、保育の質の向上や改善に関し、職員からの意見を聞いていない。</p>	a
(45)	保育の内容について、職員参加により、定期的に自己評価を行っている。	<p>a 保育の内容について、職員参加により、定期的に自己評価を行っている。</p> <p>b 保育の内容について、定期的に自己評価を行っているが、職員参加が図られていない。</p> <p>c 保育の内容について、定期的に自己評価を行っていない。</p>	a
(46)	職員の研修ニーズを把握し、職員に適切な研修機会を確保している。	<p>a 職員の資質向上に向けた目標に基づき、各職員についてどのような技術・技能を修得する必要があるかを把握し、適切な研修機会の確保を行っている。</p> <p>b 職員の研修機会は確保しているが、職員の資質向上に向けた目標に基づき、各職員についてどのような技術・技能を修得する必要があるかを把握していない。</p> <p>c 職員の研修機会を確保していない。</p>	a
-3 守秘義務の遵守			
(47)	守秘義務の遵守を周知している。	<p>a 保育に当たり、知りえた子どもや家庭に関する秘密の保持について、職員に周知している。</p> <p>c 保育に当たり、知りえた子どもや家庭に関する秘密の保持について、職員に周知していない。</p>	a

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
-4 情報提供・保護者の意見の反映			
(48)	情報提供に当たって、わかりやすく伝える工夫や配慮を行っている。	<p>a 情報提供をよく行っている。</p> <p>b 情報提供をどちらかといえば行っている。</p> <p>c 情報提供をほとんど行っていない。</p>	a
(49)	保育の実施に当たり、保護者から意見を聞くための取り組みを行い、その意向に配慮している。	<p>a 日常的に保護者と接する場面で意見を聞く以外に、懇談会や保育への参加の機会を設けるなど、保護者の意見を聞くための取り組みを行うとともに、その意向に配慮している。</p> <p>b 日常的に保護者と接する場面で意見を聞く以外に、懇談会や保育への参加の機会を設けるなど、保護者の意見を聞くための取り組みを行っているが、その意向に配慮していない。</p> <p>c 日常的に保護者と接する場面で意見を聞く以外には、保護者の意見を聞くための取り組みを行っていない。</p>	a

No.	項目内容	総合判断基準	評価結果
-5 安全・衛生管理			
(50)	事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a 事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a
		b 事故や災害に適切に対応できるマニュアルはあるが、全職員に周知されていない。	
		c 事故や災害に適切に対応できるマニュアルがない。	
(51)	事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。	a 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。	a
		b 事故防止のためのチェックリスト等はないが、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。	
		c 事故防止に向けた具体的な取り組みを行っていない。	
(52)	調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	a 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルがあり、常に清潔に保つなど適切に実施されている。	a
		b 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルはあるが、適切に実施されていない。	
		c 調理場、水周りなどの衛生管理のためのマニュアルがない。	